

表 有効積算温度計算シミュレーションによるチャノキイロアザミウマ成虫の発生ピーク予測日
(令和6年8月19日時点)

地点	長崎	佐世保	口之津	平戸
第7世代	8/26	8/27	8/29	9/13
〃 (平年)	9/6	9/8	9/7	9/28
〃 (前年)	8/28	8/28	9/1	9/11
第8世代	9/13	9/14	9/16	10/8
〃 (平年)	9/26	9/29	9/28	10/30
〃 (前年)	9/14	9/14	9/19	10/2
第9世代	10/4	10/2	10/9	11/19
〃 (平年)	10/22	10/27	10/22	－
〃 (前年)	10/9	10/7	10/10	11/4

注1:発生ピーク予測日は気象庁アメダスの気温データを用いて有効積算温量により算出した。
なお、積算には2024年8月18日までは観測値を、以降は平年値を使用した。

注2:同一地区内でも、山間部では発生ピーク予測日が異なる場合があるので注意する。
また、今後の気象条件により予測日は前後する場合がある。

注3:表中の発生ピーク予測日の5日前から発生ピーク予測日の期間に薬剤散布をすると防除効果が高い。なお、発生が多い園では、1果当たり寄生虫数が0.1頭に達する前に防除を行う。